

令和7年度 長野県流域下水道“ZERO”エネルギープランの実施状況

平成30年（2018年）3月に、長野県流域下水道事業における省エネルギー・創エネルギー等の長期的な水準目標と当面の実行計画（ロードマップ）を示した「長野県流域下水道“ZERO”エネルギープラン」を策定しました。また、令和8年3月に、ロードマップ等の内容を見直した改定版を策定しました。

このプランでは「エネルギー自給率、省エネルギー化率、温室効果ガス削減率」を指標に、毎年の実施状況等を公表することとしており、令和7年度の4処理場（クリーンレイク諏訪、クリーンピア千曲、アクアパル千曲、アクアピア安曇野）の実施状況は以下のとおりです。

主な取組み

<省エネルギー>

○運転管理方法の省エネルギー

- ・安定的な処理場管理を前提として水処理施設水中攪拌機の間欠運転等を継続的に実施しました。

○省エネルギー設備の導入・検討

- ・クリーンレイク諏訪では追加的な取組として、令和6年度に引き続き水中攪拌機へのインバータ設置を行いました。

<創エネルギー>

○下水熱利用の取組み

- ・クリーンレイク諏訪では昨年度に引き続き、諏訪赤十字病院（冷暖房施設）への熱供給を実施しました。

○太陽光発電の取組み

- ・各処理場（クリーンピア千曲を除く）で太陽光発電を継続的に実施しました。

実施状況

積極的な省エネ・創エネ取組を進めたものの、設備の修繕等により消化ガスの発生量が減少したことにより、消化ガス発電量の減少や、主に焼却炉での重油使用量の増加がみられ、各指標で目標未達成でした。

○エネルギー自給率：未達成

H27 基準年 5.1%	R7 目標 14.0%	R7 実績 11.9%
$\frac{\text{創エネルギー量 } 10,092 \text{ GJ}}{\text{消費エネルギー量 } 196,635 \text{ GJ}} \times 100\%$	$\frac{22,029 \text{ GJ}}{156,527 \text{ GJ}} \times 100\%$	$\frac{21,687 \text{ GJ}}{181,634 \text{ GJ}} \times 100\%$

○省エネルギー化率（削減率）：未達成

H27 基準年 —	R7 目標 15.6% 減	R7 実績 10.8% 減
消費エネルギー量 2.443 MJ/m ³	$\left(\frac{\text{H27 に対する消費エネルギー削減量 } 0.387 \text{ MJ/m}^3}{\text{H27 消費エネルギー量 } 2.443 \text{ MJ/m}^3} \right) \times 100\%$	$\left(\frac{0.263 \text{ MJ/m}^3}{2.443 \text{ MJ/m}^3} \right) \times 100\%$

○温室効果ガス削減率※：未達成

H27 基準年 —	R7 目標 19.5% 減	R7 実績 13.7% 減
温室効果ガス排出量 0.482 kg-CO ₂ /m ³	$\left(\frac{\text{H27 に対する温室効果ガス排出削減量 } 0.094 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^3}{\text{H27 温室効果ガス排出量 } 0.482 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^3} \right) \times 100\%$	$\left(\frac{0.066 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^3}{0.482 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^3} \right) \times 100\%$

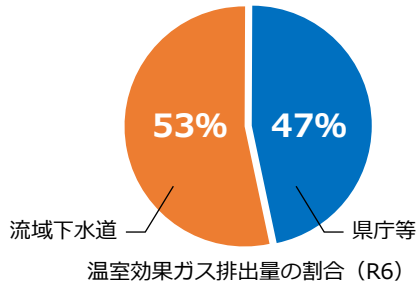
※ 2050 ゼロカーボン達成のための「第6次長野県職員率先実行計画」における流域下水道施設の目標：5%減（基準年度：平成22年度 目標年度：令和12年度）

長野県流域下水道の省エネ・創エネ対策

水道・生活排水課

1. 背景及び目的

2018年3月、流域下水道における省エネルギー・創エネルギーの長期的な水準目標と当面の実行計画（ロードマップ）を示した「長野県流域下水道“ZERO”エネルギープラン」を策定。また、2026年3月、ロードマップ等を見直した改定版を策定。



ゼロカーボン戦略 ▶ 事業者として

職員率先実行計画 ▶ 県機関として

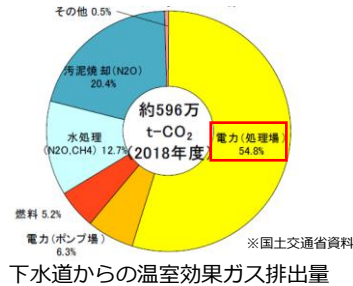
生活排水処理構想 ▶ 下水道管理者として

長野県流域下水道“ZERO”エネルギープラン

流域下水道における全エネルギー消費量の収支ゼロ（Z E S）を目指す

※ ZES = Zero Energy Sewerage

2. 省エネ・創エネ対策



省エネ

- ・省エネ機器への更新
- ・運転管理の改善
- ・資源の再利用



創エネ

- ・発電（太陽光、消化ガス）
- ・熱利用（管渠、焼却炉）

温室効果ガス削減

3. 長野県流域下水道“ZERO”エネルギープランの達成状況

(%)

	基準年度 (2015年)	R7目標	R7実績
エネルギー自給率	5.1	14.0	11.9
省エネルギー化率	—	15.6	10.8
温室効果ガス削減率	—	19.5	13.7

主な要因

＜エネルギー自給率＞

- ・施設の修繕等により消化ガスの発生量が減少したため、目標未達成

＜省エネルギー化率、温室効果ガス削減率＞

- ・焼却炉等における燃料（重油）使用量が増加したため、目標未達成

省エネ・創エネ取組

省

高効率散気装置の導入、
送風機送風量の適正化など
(全流域)



創

消化ガス発電
(諏訪湖、犀川安曇野)



省

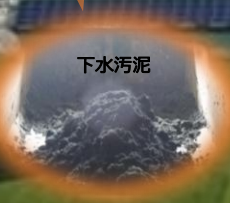
汚泥共同処理（焼却）
(諏訪湖←富士見町、千曲川上流←長野市)



セメント資源化



下水汚泥



創

下水熱利用
(諏訪湖→諏訪赤十字病院)



創

太陽光発電
(諏訪湖、千曲川上流、犀川安曇野)



省

汚泥肥料化効果検証
(犀川安曇野×南安曇農業高校)

